

井上道義、“最愛”にして“最後”のオペラを
盟友・森山開次とともに新制作
～2024年秋、全国7都市で新たな『ラ・ボエーム』上演～



画: 森山開次

【公演スケジュール】

- ・9/21(土)・23(月・休) 14:00 開演
- ・9/29(日) 14:00 開演
- ・10/6(日) 14:00 開演
- ・10/12(土) 14:00 開演
- ・10/19(土) 14:00 開演
- ・10/26(土) 14:00 開演
- ・11/2(土) 14:00 開演

- 東京芸術劇場コンサートホール
- 名取市文化会館大ホール
- ロームシアター京都メインホール
- 兵庫県立芸術文化センターKOBELCO 大ホール
- 熊本県立劇場演劇ホール
- 金沢歌劇座
- ミューザ川崎シンフォニーホール

井上道義、“最愛”にして“最後”のオペラを 盟友・森山開次とともに新制作

～2024 年秋、全国 7 都市で新たな『ラ・ボエーム』上演～



写真(左から):井上道義(指揮)©Yuriko Takagi/森山開次(演出・振付・美術・衣裳)©Sadato Ishizuka/ルザン・マンタシヤン©Anastasia Zuzmann、高橋絵理©TAKUMI JUN /工藤和真©FUKAYA auraY2/中川郁文©Futoshi.K、イローナ・レヴォルスカヤ/池内響©T.Tairadate

東京芸術劇場・名取市文化会館・ロームシアター京都・兵庫県立芸術文化センター・熊本県立劇場・金沢歌劇座・ミュージアム川崎シンフォニーホールによる 2024 年度・全国共同制作オペラでは、2024 年に没後 100 年を迎えるジャコモ・プッチーニの傑作オペラ『ラ・ボエーム』(新制作)を 2024 年 9 月～11 月に全国 7 都市で計 8 公演、上演いたします。

■井上道義、“最愛”にして“最後”のオペラを盟友・森山開次とともに新制作

本プロダクションの核を担うのは、2024 年末での引退を宣言している指揮者・井上道義です。井上自ら“最愛のオペラ”と語る『ラ・ボエーム』の新制作は、現役最後に取り組むオペラ・プロダクションとなります。演出には、深い信頼を寄せる舞踊家・演出家の森山開次を指名。森山は、オペラ初演出作品となった『ドン・ジョヴァンニ』(2018、指揮:井上道義)に続き、振付・美術・衣裳デザインも担当。井上最後のオペラ制作にあたって、「私の芸術の灯火を捧げて取り組む」とその意気込みを語っています。幾多のコラボレーションで次々と鮮やかなステージを生み続けてきた異名コンビが、より一層の創造とイマジネーションあふれる新たな舞台を全国 7 都市から世界へ発信します。芸術を愛する全ての人に観ていただきたい、特別な『ラ・ボエーム』にどうぞご期待ください。

■日本&海外混成による新進気鋭の歌手が集結！

歌手陣は、井上自らオーディションで選び抜いた国内外の実力派が揃いました。詩人ロドルフォには、2023 年の井上道義が人生を投影した自作ミュージカルオペラ『A Way From Surrender～降福からの道～』で井上の分身ともいべきタロー役を務めた工藤和真が登場。いま聴きたい新世代テノールの筆頭が、全 8 公演を務めます。ミミ役には、本年ロンドンの名門ロイヤル・オペラ・ハウスにミミ役でデビューし絶賛されたアルメニア出身のソプラノ、ルザン・マンタシヤンが初来日するほか、圧倒的な表現力で定評ある高橋絵理のダブルキャストでお届けします。

このほか池内響(マルチェッロ)、中川郁文、イローナ・レヴォルスカヤ[初来日](以上ムゼッタ)、スタニスラフ・ヴォロビョフ[初来日]、杉尾真吾(以上コッリーネ)、高橋洋介、ヴィタリ・ユシュマノフ(以上ショナール)、晴雅彦(ベノア)、仲田尋一(アルチンドロ)、谷口耕平(パルピニョール)という充実の布陣でお贈りします。

◆「全国共同制作オペラ」シリーズとは？

全国の劇場・音楽堂、芸術団体等が連携し、単館では成しえない、独創的かつ高いレベルのオペラを新演出で制作するプロジェクト。2009 年度から開始し、近年では野田秀樹演出のモーツァルト『フィガロの結婚 ～庭師は見た！～』(2015 年度/全国 10 都市 13 公演、2020 年度/3 都市 3 公演)、森山開次演出の『ドン・ジョヴァンニ』(2018 年度/3 都市 4 公演)、野村萬斎演出の『こうもり』(2023 年度/3 都市 3 公演)など実績を積んでいます。

◆共同制作オペラ『ラ・ボエーム』特設サイト

<https://la-boheme2024.jp>



井上道義（指揮）

井上は、歳をとると本来の自分でなくなるような恐怖感に襲われます。「元気な、踊るような、名誉欲のない、生きている人より楽譜の中の作曲家と語り合うことを好む、夢想家の指揮者」である道義がどこか彼方へ行ってしまい、「【巨匠】とおだてられ、爺臭く動きも鈍く、希望は追憶に入れ替わり、ノスタルジーの中に生きる存在」になることを嫌います。指揮者とは水先案内人であり、天才たちが書き残した作品を、現実の荒ぶる水しぶきととらえ、時空を超え、コンサートホールというノアの箱舟を山の頂に接岸させる役目だと思っています。知性と愛とユーモアを駆使するには体力が必要です。2023年1月、自分の一生の哲学？を表現した「愛の実態は何か」を描くことが出来たのが、自作のオペラ「降福からの道」でした。嬉しいことに、良い結果と高評価を得ています。しかし、現実の近くにいる人でさえ、そこに描いた真実の愛の在り方を理解しない人が居て、絶望を感じることもあります。そんないつまでも青二才な道義の青春時代の憧れだったオペラ『ラ・ボエーム』を、坐骨神経痛や弱った腎臓のことを忘れ、素晴らしい演出家と歌手ともう一度花火を上げることが出来るなんて、こんな嬉しいこと……いえいえ、こんな辛いことはありません。頑張ります。



photo: Yuriko Takagi

Biography | 井上 道義(指揮) Michiyoshi Inoue, Conductor

1946年東京生まれ。桐朋学園大学卒業。ニュージーランド国立交響楽団首席客演指揮者、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、京都市交響楽団音楽監督兼常任指揮者、大阪フィルハーモニー交響楽団首席指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督を歴任。2007年ショスタコーヴィチ交響曲全曲演奏プロジェクトを企画立案。2014年4月病に倒れるが、同年10月に復帰を遂げる。近年では、全国共同制作オペラ『フィガロの結婚～庭師は見た！～』『ドン・ジョヴァンニ』、大阪国際フェスティバル『バーンスタイン：ミサ』、『井上道義：A Way from Surrender ～降福からの道～』等を、いずれも総監督として率い既成概念にとらわれない唯一無二の舞台を作り上げている。2018年「大阪府文化賞」「大阪文化祭賞」「音楽クリティック・クラブ賞」、2019年NHK交響楽団より「有馬賞」、2023年「第54回サントリー音楽賞」を受賞。オーケストラ・アンサンブル金沢桂冠指揮者。2024年12月にて指揮活動の引退を公表している。

森山開次（演出・振付・美術・衣裳）

自由に芸術を志す若者達の集い住む屋根裏部屋に、私もしばらく居候させてもらう。若き詩人の甘美な言葉に揺られて、破天荒な画家の絵の具のしぶきとなり、人の理を洞察しては、哲学者と古書の束にうづくまる。そして、陽気な音楽家と共に踊りあかす日々を送るのだ。

冬のパリ、貧しさと寒さに身を震わせながらも、暗い屋根裏部屋に灯された小さな愛。真っ赤な花のごとく燃えては、春を迎える前に朽ちる絶望。プッチーニの至極の音楽にのせて、彼らの歓びと苦悩の日常の風景を鮮明に描く。私は舞踊家として芸術家たちと戯れ、心情を身体から湧き出させたい。

井上道義さんの最後で最愛のオペラ『ラ・ボエーム』に、私の芸術の灯火を捧げて取り組む。時を繋いだ芸術の夢を追いかけながら。



photo: Sadato Ishizuka

Biography | 森山開次(演出・振付・美術・衣裳) Kaiji Moriyama, Stage Director, Choreographer, Designer

2005年自ら演出振付出演するソロダンス『KATANA』でニューヨークタイムズ紙に「驚異のダンサー」と評され、2007年ヴェネチア・ビエンナーレ招聘。2013年『曼荼羅の宇宙』で芸術選奨新人賞他三賞受賞。同年文化庁文化交流使。2019年『ドン・ジョヴァンニ』（総監督・指揮：井上道義）でオペラ初演出。2020年新国立劇場バレエ団『竜宮』演出振付美術衣裳。2021年東京2020パラリンピック開会式演出・チーフ振付。能・雅楽など伝統芸能とのコラボレーション、AIピアノとの共演など実験的なプロジェクトに多数取り組む傍ら、映画・広告・テレビなどジャンルを自在に横断し活動。現代のダンスシーンを牽引するアーティストの一人である。

◆出演者

前期＝東京・名取・京都
後期＝兵庫・熊本・金沢・川崎

【ミミ】

ルザン・マンタシヤン

Ruzan Mantashyan [前期]

アルメニア出身。モデナでミレッラ・フレニー、フランクフルトでヘドウィグ・ファスベンダーに師事。パリ国立オペラのアトリエ・リリックで研鑽を積んだ。これまでバイエルン州立歌劇場、ハンブルク、チューリヒ、パリ国立オペラ、ジュネーヴ、ベルリン、グラインドボーン、アムステルダム等でフィオルディリージ、ミカエラ、タチアーナ、ミミ、ドンナ・エルヴィーラなどを演じている。本年1月、ミミ役で英国ロイヤルオペラに、3月にはタチアーナ役でウィーン国立歌劇場にデビューを果たしたばかり。初来日。



photo: Anastasia Zuzman

高橋絵理 Eri Takahashi [後期]

国立音楽大学大学院、新国立劇場オペラ研修所を経て渡伊。『道化師』ネグダで二期会デビュー。以降も『フィガロの結婚』伯爵夫人、『ファルスタッフ』アリーチェ、『エロディアーード』サロメ、日生劇場『コジ・ファン・トゥッテ』フィオルディリージ、全国共同制作オペラ『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナ等を演じる。2024年7月二期会『蝶々夫人』に表題役で出演予定。第6回静岡国際オペラコンクール第3位及びオーディエンス賞、五島記念文化賞新人賞等受賞。二期会会員。



photo: TAKUMI JUN

【ロドルフォ】

工藤和真 Kazuma Kudo [前/後期]

東京藝術大学卒業。同大学院修了。第53回日伊声楽コンクール第1位及び歌曲賞、第17回東京音楽コンクール声楽部門第2位(最高位)及び聴衆賞、2023年には第2回ジュディッタ・パスタ記念熊本復興国際オペラコンクール第1位など受賞多数。オペラでは NISSAY OPERA『トスカ』カヴァラドッシ、藤沢市民オペラ『ナブッコ』イズマエーレ、新国立劇場『ボリス・ゴドゥノフ』グリゴリーなどで出演。2024年2月には東京芸術劇場コンサートオペラ オフフェンバック『美しきエレヌ』パリで出演し絶賛された。



photo: FUKAYA/auraY2

【ムゼッタ】

中川郁文 Ikumi Nakagawa [前期]

兵庫県出身。奈良教育大学卒業、京都市立芸術大学大学院、サントリーホールオペラ・アカデミー修了。世界オペラコンクール NEUE STIMMEN のアジア地区代表。ザルツブルク音楽祭 YoungSingersProject のメンバーとして日本で初抜擢され、複数の公演にソリストとして出演。海外プロダクションからの直接オファーを受けるなど国際的な舞台経験を多数持つ。国内では PMF 札幌、サラダ音楽祭、セイジオザワ松本フェスティバル、第九やレクイエムのソリストを務める。小澤征爾音楽塾カヴァーキャスト。



photo: Futoshi.K

イローナ・レヴォルスカヤ

Ilona Revolskaya [後期]

圧倒的なコロラトゥーラによって、リンツ歌劇場で『ラ・ボエーム』ムゼッタ、『カプレーティ家とモンテッキ家』ジュリエッタ(オーストリア劇場賞最優秀主演女性歌手賞)、『フィガロの結婚』スザンナ、『リナルド』アルミーダ。アン・デア・ウィーン劇場とも縁が深く、オペラデビューは同劇場『キャンディード』クネゴンデ役、『ホフマン物語』オリンピア。ロシア出身。モスクワ音楽院を経て、ロンドンのロイヤル・アカデミー・オブ・ミュージック修了。初来日。



【マルチェッロ】

池内 響 Hibiki Ikeuchi [前/後期]

東京藝術大学大学院オペラ科修了。第20回東京音楽コンクール声楽部門第1位及び聴衆賞、第56回ヴェルディの声国際コンクール入選(伊)、第10回サルヴァトーレ・リチートラ声楽コンクール優勝(伊)等、国内外で多数の受賞歴を持つ。ヘンデル『メサイア』、フォーレ『レクイエム』等のソリストを務めるほか、オペラでは NISSAY OPERA2015『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロールをはじめ、2021『ラ・ボエーム』マルチェッロ、宮崎国際音楽祭『仮面舞踏会』レナート等で出演。



photo: T.Tairadate

【コッリーネ】

スタニスラフ・ヴォロビョフ

Stanislav Vorobyov [前期]

2018年よりチューリヒ歌劇場に所属し『ラ・ボエーム』コッリーネ、『チェネレントラ』アードーロ、『ナブッコ』ベル祭司长ほかで出演。ブレゲンツ音楽祭に『セビリヤの理髪師』ドン・バジリオ、『蝶々夫人』ボンゾで客演。フランドル・オペラ『真珠採り』、アムステルダム『セミラーミデ』、ジュネーヴ大劇場『アンナ・ボレーナ』に出演。2023/24年シーズンはチューリヒで『カルメン』『シチリアの晩鐘』、ジュネーヴで『ばらの騎士』他に出演予定。初来日。



photo: Liliya Sindeeva

杉尾真吾 Shingo Sugio [後期]

武蔵野音楽大学声楽科卒業、同大学院声楽専攻修了。第48回イタリア声楽コンクールソリエナ大賞(第1位)、第2回イブラ・グラント・アワード・ジャパン総合グランプリ(第1位)など受賞多数。藤原歌劇団公演『イル・カンピエッロ』、『二人のフォスカリ』、日本オペラ協会『紅天女』、藤沢市民オペラ『ナブッコ』、三河市民オペラ『アンドレア・シェニエ』など日本全国各地でのオペラに主要な役で出演し好評を博す。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。



photo: GION

【シヨナール】

高橋洋介 Yosuke Takahashi [前期]

東京芸術大学、同大学院、新国立劇場オペラ研修所を経て文化庁海外派遣制度で渡英し、ロイヤルオペラハウス研修所にゲストとして参加。その後、シュトゥットガルト音楽演劇大学で研修を積む。これまでに東京文化会館オペラBOX『カルメン』エスカミーリョ役、東京芸術劇場シアターオペラ『道化師』シルヴィオ役等で出演。東京音楽コンクール第2位聴衆賞。コンセル・マロニエ21第1位。ザンドナーイ国際コンクールファイナリスト。



ヴィタリ・ユシュマノフ

Vitaly Yushmanov [後期]

サンクトペテルブルク生まれ。ライプツィヒ音楽演劇大学を卒業。2015年春より日本に拠点を移し、『ラインの黄金』、『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵役などに出演、新国立劇場でのダブルビル公演『夜鳴きうぐいす／イオランタ』や歌劇『ジュリオ・チェーザレ』のアキッラ役などでも好評を博した。日本トスティ歌曲コンクール 2015 第 1 位、第 52 回日伊声楽コンクール第 1 位及び最優秀歌曲賞受賞。CDはこれまでに 4 枚をリリース。

photo: Masaaki Hiraga



【ベノア】

晴 雅彦 Masahiko Hare [前/後期]

大阪音楽大学卒業。文化庁派遣芸術家在外研修員として独ベルリンに留学。独ケムニッツ市立劇場『魔笛』パパゲーノで欧州デビュー後、独ザクセン州立劇場、独ラインスベルク音楽祭、瑞ヴァドステーナ音楽祭、また国内でも、新国立劇場をはじめ全国の主要な劇場で活躍。チョン・ミョンフン、ペーター・シュナイダー等と共演。「プレミアムシアター」「題名のない音楽会」等に出演。咲くやこの花賞、大阪文化祭奨励賞、兵庫県芸術奨励賞を受賞。大阪音楽大学教授。



【アルチンドロ】

仲田 尋一 Hirohito Nakata [前/後期]

大阪音楽大学大学院 声楽研究室・オペラ系修了。新国立劇場オペラ研修所第 21 期修了。これまでに『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵役、『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモ役、『ドン・ジョヴァンニ』ドン・ジョヴァンニ役、レボレッロ役、『魔笛』パパゲーノ役、弁者役、『メリー・ウイダー』ダニロ役、サンブリウオッシュ役、『カプレーティ家とモンテッキ家』カペッリオ役、などその他多数オペラに出演。オペラ研修所在籍中に、ANA スカラシップにより、ミラノ・スカラ座アカデミーにて研修。



【パルピニョール】

谷口 耕平 Kohei Taniguchi [前/後期]

大阪音楽大学大学院オペラ研究室修了。第 18 回 KOBE 国際コンクール優秀賞及び教育委員会賞。第 69 回全日本学生音楽コンクール全国大会第 2 位。オペラを中心に活動し『魔笛』『コジ・ファン・トゥッテ』『ホフマン物語』『リータ』『ドン・パスクワレ』『愛の妙薬』『セヴィリアの理髪師』『外套』『カルメン』『こうもり』『つばめ』『ファルスタッフ』など約 30 の役を好演。「第九」「カルミナ・ブラーナ」「スターバトマーテル」(ロッシーニ)などのテノールソリストを務める。



【ダンサー】

梶田 留以 Rui Kajita

福島県出身。バレエを安部仁子に師事。大阪芸術大学舞台芸術学科舞踊コース卒業後、Noism に所属。現在は東京に拠点を移し、遠藤康行、森山開次、柳本雅寛、島地保武、菅沼伊万里等の作品に出演。ダンス公演の他、ミュージカル、コンサートなどにも出演、同時に様々な作品で演出・振付アシスタントとしても活動している。

photo: yasuihiro okada



水島 晃太郎 Kotaro Mizushima

1999 年より和田朝子・和田伊通子に師事。国内外のコンペティションにて第 1 位など多くの賞を受賞。平山素子、森山開次、中村しんじ・川野眞子、長塚圭史、白井晃などの作品に出演。東京 2020 パラリンピック開会式に出演。その他、多くの舞踊作品、演劇、映像作品などに出演。筑波大学大学院を修了し、現在フリーで活動中。



南 帆乃佳 Honoka Minami

幼少より平多利江に師事。全国舞踊コンクール第 1 位他多数受賞。13 年文化庁新進芸術家海外研修員としてアムステルダム芸術大学留学。18 年筑波大学卒業後、フリーのダンサーとして活動開始。平山素子、森山開次、遠藤康行、井田亜彩実等の作品の他、東京 2020 パラリンピック開会式出演。舞踊活動の傍ら YBR®、ピラティス資格を取得。K-BALLET ACADEMY フィジカルクラス担当。東京都立総合芸術高等学校舞台表現科講師。



小川 莉伯 Riku Ogawa

幼少期から岸雅に師事。高校入学を機に danceworks において contemporary を学ぶ。現在、大正大学で仏教を学びながらダンサーとして活動。舞台、イベント、CM、MV 等に出演している。また比叡山での修行満行し、天台宗の僧侶として仏事に邁進。



【合唱団】

ザ・オペラ・クワイア、
世田谷ジュニア合唱団[東京、川崎]
仙台オペラ協会ボエーム合唱団、NHK 仙台少年少女合唱隊・宮城ボエーム児童合唱団[名取]
きょうと+ひょうごプロデュースオペラ合唱団、
京都市少年合唱団[京都]
きょうと+ひょうごプロデュースオペラ合唱団、
三田少年少女合唱団[兵庫]
ラスカーラ・オペラ合唱団、
NHK 熊本児童合唱団[熊本]
金沢オペラ合唱団、
金沢オペラ児童合唱団[金沢]

【管弦楽】

読売日本交響楽団[東京]
仙台フィルハーモニー管弦楽団[名取]
京都市交響楽団[京都]
兵庫芸術文化センター管弦楽団[兵庫]
九州交響楽団[熊本]
オーケストラ・アンサンブル金沢[金沢]
東京交響楽団[川崎]

バンダ・ペル・ラ・ボエーム

◆スタッフ

合唱指揮	辻 博之
照明	足立 恒
映像	山田晋平
美術コーディネーター	中村友美
衣裳コーディネーター	林 なつ子、朝野なつ美
メイクコーディネーター	石原ももこ
音響	石丸耕一(東京芸術劇場)
副指揮	佐藤正浩、糸原裕介、瀬山智博
コレペティトア	服部容子
演出助手	奥村啓吾、彌六
振付助手	美木マサオ
舞台監督	酒井 健
プロダクションマネジャー	關 秀哉

共同制作 Co-production

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場、公益財団法人名取市文化振興財団(予定)、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、兵庫県立芸術文化センター、公益財団法人 熊本県立劇場、公益財団法人金沢芸術創造財団、ミュージアム川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)、公益財団法人 読売日本交響楽団、公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団、京都市交響楽団、兵庫県立芸術文化センター管弦楽団、公益財団法人 九州交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢(公益財団法人石川県音楽文化振興事業団)、公益財団法人 東京交響楽団

公演スケジュール&チケット情報 Schedule & Tickets

会場・日時	チケット情報・主催・お問合せ
東京芸術劇場 コンサートホール 9/21(土) 14:00 9/23(月・休) 14:00	[料金] 調整中 [発売] 5/18(土)芸劇メンバーズ Web 先着先行、5/25(土)一般 [主催] 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場 [問合] 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296(10:00-19:00 ※休館日を除く) https://www.geigeki.jp/
名取市文化会館 大ホール 9/29(日) 14:00	[料金] S¥11,000 A¥8,500 B¥6,500 ※(シーパイン友の会会員 各券種¥500 引)、U-30 チケット各券種¥3,000 引(要身分証明書) [発売] 5/18(土)一般 [主催] 公益財団法人名取市文化振興財団(予定) [問合] 名取市文化会館 022-384-8900(9:00-18:00/休館日:第1第3火曜日)
ロームシアター京都 メインホール 10/6(日) 14:00 開演	[料金] SS¥13,000 S¥11,000 A¥8,000 B¥6,000 C¥4,000 D¥3,000 ユース(25歳以下)¥5,000 18歳以下¥3,000 [発売] 4/14(日)会員先行(※フレンズ会員・Club 会員・京響友の会会員) 4/21(日)一般 [主催] ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市 [問合] ロームシアター京都チケットカウンター 075-746-3201(10:00-17:00)
兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール 10/12(土) 14:00 開演	A¥13,000 B¥10,000 C¥8,000 D¥6,000 E¥3,000 [発売] 4/18(木)会員先行、4/21(日)一般 [主催] 兵庫県、兵庫県立芸術文化センター [問合] 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255(10:00-17:00 ※月曜休・祝日の場合翌日) https://www.gcenter-hyogo.jp

<p>熊本県立劇場 演劇ホール 10/19(土)14:00 開演</p>	<p>[料金] S¥12,000 A¥10,000 B¥8,000 C¥6,000 [発売] 6月予定 [主催] 公益財団法人熊本県立劇場 [問合] 熊本県立劇場 096-363-2233(9:00-19:00) http://www.kengeki.or.jp/</p>
<p>金沢歌劇座 10/26(土)14:00 開演</p>	<p>[料金] 調整中 [発売] 6月予定 [主催] 公益財団法人金沢芸術創造財団、公益財団法人石川県音楽文化振興事業団 [問合] 公益財団法人金沢芸術創造財団 076-223-9898(9:00-17:00)</p>
<p>ミューザ川崎 シンフォニーホール 11/2(土)14:00 開演</p>	<p>[料金] 調整中 [発売] 6/10(月)友の会先行、6/13(木)Web 先行、6/19(水)一般 [主催] ミューザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ) [問合] ミューザ川崎シンフォニーホールチケットセンター 044-520-0200(10:00-18:00 ※休館日を除く) https://www.kawasaki-sym-hall.jp/</p>

(2024年3月5日現在)

2024年度 全国共同制作オペラ『ラ・ボエーム』 広報担当館

ミューザ川崎シンフォニーホール 佐藤 044-520-0100 (代) | sato@kawasaki-sym-hall.jp
 熊本県立劇場 佐藤 096-363-2235 | kikaku@kengeki.or.jp
 名取市文化会館 石山 022-384-8900 | ishiyama@natori.or.jp